

屈斜路湖と周辺景色

屈斜路湖は日本最大のカルデラ湖です。複数の火山噴火によって、かなり昔に形成されました。和琴半島は湖に突き出しており、地平線上で最も高い頂は、斜里山、雄阿寒岳、そして雌阿寒岳の山々です。

動植物たち

日本ハイマツは通常標高 2000-3000 メートルの高さのところに育つ高山低木です。しかしながら、ここでは通常よりずっと低い標高のところで育ちます。たくさんの数のウグイスがこの地域に住み、野生のシマリスが藪の中にいるのを時々見ることが出来ます。

四季折々の風景

ここは、雲海がみられる人気の場です。この自然現象は、湖面近くに雲が集まり覆い隠しながらも、周辺の山々の姿を見せる現象です。秋にはカエデが山肌を鮮やかに染め上げ、冬には、樹氷が見事な景観を生み出します。

藻琴山登山道

藻琴山(1000 メートル)は屈斜路湖カルデラ外輪山の最高峰です。山頂へと続く 2 キロメートルに及ぶスカイライン登山道は、日本ハイマツが密集する区域を抜け、素晴らしい眺めが広がる開けた場へと到達します。スカイライン登山道は複数の他の登山道に繋がっており、全長 8 キロメートルのループコースになっています。